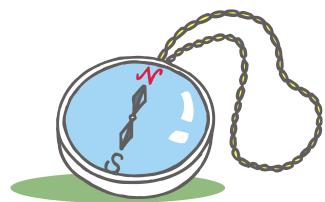


羅針盤



第 25 号 令和4年(2022年)11月21日(月)

◆ 仕事って何？ 働くこととは？

明後日の11月23日は、勤労感謝の日です。「仕事とは何か？」あるいは「働くこととは？」といったように、働くことの意味や目的を尋ねられたときに、生徒の皆さんはいったいどのように考えて、自分自身の答えを導き出していくのでしょうか。働くことで収入（お金）を得て人間らしく生活をしていくためといったことも大きな目的の一つではあるでしょう。また、これまでに学んできたことを活用して自分自身が成長するために働くといったことが目的であったり、自分のもつ夢や目標を自己実現させていくために働くといったこともあるでしょう。あるいは、日常生活の中では実感として捉えにくいくらいかもしれません、社会で暮らすたくさんの人たちが安全で快適に、そして、幸せに過ごすための一端を自分自身が担うといったこともあるのではないでしょうか。日ごろから生徒の皆さんに、学校の教育目標として伝えている「自立して社会貢献できる人になる」ための精神を培うことで、働くことの意味や目的が明確になっていくのではないかと考えます。皆さんもよく知っているスタジオジブリが作成した映画『おもひでぼろぼろ』（高畑勲監督・脚本）は主人公である夕工子が、山形の片田舎である高瀬に旅して、田舎の人々や自然に触れながら自分の生き方を見つけていくといった作品ですが、その中に登場する農業を営む青年トシオのセリフで「大変、大変って言うけれど、



一生懸命やっている仕事なら大変でない仕事なんてないでしょ？」といった言葉があります。サラリーマン（会社員）から有機栽培農家に転じて、やりがいを見つけた青年トシオのこの言葉の中には、働くことの本質をついている部分があるのではないかと思われます。皆さんにも是非「大変！大変！」と笑顔で言えるような仕事を見つけてもらいたいものです。

◆ 立冬、そして、小雪（しょうせつ）、大雪（たいせつ）へ

11月もすでに下旬、季節の移ろいを表す二十四節気（にじゅうしせき）ではすでに立冬に入り、明日からは小雪（しょうせつ）といって雪が降り始めるころであることを意味する暦へと変わっていきます。季節の訪れを一步先んじて感じができる、今の季節であるあるからこそ相応しい名称がつけられていて、もともとは農耕民族である日本の風土に適した農耕作業をすすめるためには今の時代にも欠かせない言葉のようです。また二十四節気（にじゅうしせき）に続く七十二候（ななじゅうにこう）では、小雪（しょうせつ）は、虹藏不見（にじかくれてみえず）【虹が現れなくなる】、朔風払葉（さくふうはをはらふ）【北風が葉を払いのける】、そして、橘始黄（たちばなはじめてきなり）【タチバナの花が黄色く色づき始める】の三つの候に分かれていて、季節の趣（おもむき）を表す暦となっています。暦のうえでは季節はすでに冬となっています。山の木々が色づく季節を過ぎ、そろそろ冬支度を始める季節へと向かっていきます。